

やまぐち

市議会だより



山口市議会の総力

定例会特集	2
議案の審議結果	5
委員会ア・ラ・カルト	6
市長に聞きたい!	8
議会からのお知らせ	15



2024年
2/16～3/14

上程された議案

予算

22件

条例

16件

事件議決

7件

諮問

1件

委員会提出

3件

元気山口 予算

一般会計

1,092億円可決

このたび、合併後の山口市議会としては初めて、議長、副議長以外の全議員が本会議の一般質問に立ちました。

本会議の一般質問では、令和6年度当初予算、災害への備え、観光整備、中央消防署整備計画、農山村エリア居住促進基本方針や各種計画、組織改編、行政改革、山口県農業試験場跡地利用、人口減少対策、デジタル技術の活用、まちづくり、会計年度任用職員への対応など、様々な視点からの質問があり、活発な議論が交わされました。（8ページからの各議員の一般質問・質疑を参照）

予算について、議員から様々な意見が出されました

評価すること！

- **山口市タクシー利用券**の1乗車あたりの助成額を乗車料金1,000円当たり300円から400円に引き上げる点。
※令和6年度から「おでかけサポートタクシー利用券」と「福祉タクシー利用券」の名称が「山口市タクシー利用券」に統一されます。
- これまで市内統一されていなかった**学校給食費**の保護者負担を市内で一番低い1食当たり小学校240円、中学校280円に統一した。また、現在の保護者負担から増額とならないよう、公費負担による支援を拡充をする点。
- 市報等の紙媒体では情報が届きにくい若者や子育て世代に向けて、**動画**を用いた効果的な情報発信を行う点。
- 市長定例会見の会場に**手話通訳者**を配置するとともに、録画した動画に手話通訳・字幕を挿入して市公式ウェブサイトで配信するなどの合理的配慮の推進に取り組む点。
- 近年の激甚化・頻発化する大雨災害に対応するため、**河川治水課**を新設し、災害治水対策の総合的マネジメント機能を強化するとともに、緊急かつ集中的な河川の浚渫に充実した予算を計上している点。
- 救急隊員の人材育成として**VRゴーグル**等を活用した訓練で、現場での隊員の判断能力の向上を図ることや、消防団での専用アプリ活用とタブレット端末の試験的な導入などデジタル技術の活用に取り組む点。

予算について知りたい方は、市ウェブサイト掲載の「令和6年度当初予算資料」をご覧ください。



市報4月1日号に特集記事があります。



令和6年度「ずっと安心 過去最大規模！」

令和6年度当初予算を「ずっと安心 元気山口」予算と位置づけ、市民生活の安心と安全を確保するための物価高騰への対応や防災・減災の取組の加速化を図ります。また、合併後の新市のまちづくりの総仕上げを含む後期基本計画の6つの重点プロジェクトの着実な推進を可能とするため、過去最大規模となる積極型予算の編成となっています。



指摘・要望！



- 山口市 中心市街地**周辺地区整備事業、都市計画基本調査事業は、亀山周辺ゾーン、中心商店街ゾーン、大内文化ゾーンの道路の美装化やバリアフリー化、まちなかウォークアブルを推進するための山口駅通りの整備案の作成等を行うものであり、今後、複数年にわたって投資・整備を実施することになるとの説明があったが、高齢化による人口減少で都市の形態が変わる可能性もあるため、関係部局と連携してスピード感をもって取り組むよう要望する。



- 除雪車やじんかい収集車**等の特殊車両の取得は、実際に稼働する時期の直前に納車することで、余分な点検費用がかからないスケジュールとされるよう指摘する。
- 飼い主のいない猫の**不妊・去勢手術費**の助成件数が増えていることから、今後も活用しやすい制度となるよう、関係団体等と協議し、必要に応じて助成金交付要綱の見直しも含めて検討するよう要望する。



- 新本庁舎**管理業務に係る債務負担行為（事業が単年度で終了せず、後年度にも支出しなければならない場合に、あらかじめ後年度の債務を約束する予算を定めること。）の設定について、新本庁舎のビル管理を、管理会社に一括発注する「総合管理業務委託」とすることが示されたことについて、様々な意見が出された。

- ・現庁舎の各管理業務委託の合算と単純に比較できない。詳細も不透明な部分があり賛成できない。
- ・現庁舎にない教育委員会、環境部、消防本部等を集約するため面積が拡大し、保安、防犯、環境面など別の機能も有する施設となることから妥当と考える。

- 部活動地域移行**推進事業について、中学校の生徒や保護者などの不安の声への対応として、実証事業を早期に実施し、山口市に合った形でしっかり検討するよう要望する。

- 観光資源活用**誘客事業のクリスマスの灯り拡充事業については、計画性のある整備とともに、文化・経済の両面でまちを活性化させるナイトタイムエコノミーの推進を求める。

3月定例会

ピックアップ
pick up

経費増大についてわかりやすい説明を！

新本庁舎の総合管理業務に必要な維持管理費として、令和7年度から令和11年度までの5年間の債務負担行為限度額13億1,500万円が設定された。これは、現在の維持管理費と比べると5年間でおおむね10億円の経費増となるものである。

新本庁舎は現在の本庁舎の2倍以上の床面積で、教育委員会、環境部、消防本部等の施設が集約されるとしてもあまりにも経費が増大しており、その根拠を問いただすも明確な説明が得られたとは言えない結果となった。

指摘・要望

市内事業者にこれだけの規模の業務委託を担うことができるのかも疑問であり、山口市ふるさと産業振興条例の趣旨を踏まえ、市内事業者が参入しやすい業務設計を行い、その上で、今後は、詳細な積算に基づいた予算編成や入札条件に市内事業者への配慮を盛り込むなど、十分な検討を重ね、市民や議会への丁寧な説明を行った上で予算執行に臨んでいただきたい。



3月定例会

ピックアップ
pick up



会計年度任用職員への通勤手当の誤支給！

会計年度任用職員に対し、通勤手当の誤支給が発生し、対象者に返還を求めるとされた。

月初めの1日から任用された場合にはその月から支給される通勤手当を、月途中から採用された職員に対しても、誤ってその月からの通勤手当を支給していた。

任用時の労働条件の説明や、該当の会計年度任用職員への通勤手当の誤支給に関する説明などが十分ではなかったことが指摘された。

3月定例会

ピックアップ
pick up

適切な議案提出を！

予定工事期間中の悪天候などで工期が伸び、不測の日数を要し、年度内の工事完了とならず一体発注した事業等も遅延した。また、車両購入に当たり半導体不足で納期が遅延した。さらに、給付金に関しては、給付対象者の申請が想定を下回ったという理由で大幅な繰り越しとなった。

議案に対する討論において、いずれの事業も今期定例会での委員会審査の対象とならず、定例会最終日に追加上程議案となったことは議会軽視とも受け取られることから、今後は公契約の重さを十分に意識するとともに、複数の所管にかかる事案についてどこの部局が責任をもって管理するのかなど、組織の在り方についても考慮するよう指摘した。

3月定例会

ピックアップ
pick up

子ども・子育て全力応援のまちづくりへ

子育て支援策として、山口市独自の5つの新たな取組を打ち出した。1点目は、高校生世代の医療費の無料化、2点目は、第2子以降の保育料の無償化、3点目は、1歳児健診の公費負担化、4点目は、おたふくかぜワクチン接種の助成、5点目は、学校給食費の公費負担の拡充に取り組むとした。また、国と連携した児童手当の拡充などに取り組むとし、子育て家庭への経済的支援に係る予算を前年度比約20%増とした。議会では、令和6年度当初予算において、こうした子育て家庭の負担軽減に向けた取組の推進が強化されてることについて、評価するとの意見があった。

山口市独自の取組

- ・高校生世代の医療費無料化
- ・第2子以降の保育料無償化
- ・1歳児健診の公費負担化
- ・おたふくかぜワクチン接種の助成
- ・学校給食費の公費負担拡充

+

国と連携した児童手当の拡充

- ・第3子以降の支給額増額
- ・支給期間を高校生まで延長



増

前年度比約20%

議案の審議結果

全員賛成で可決した議案

予 算

- 令和6年度山口市国民健康保険特別会計予算
- 令和6年度山口市介護サービス事業特別会計予算
- 令和6年度山口市鑄銭司第二団地整備事業特別会計予算
- 令和6年度山口市地下水道事業特別会計予算
- 令和6年度山口市国民宿舍特別会計予算
- 令和6年度山口市特別林野特別会計予算
- 令和6年度山口市水道事業会計予算
- 令和6年度山口市簡易水道事業会計予算
- 令和6年度山口市公共下水道事業会計予算
- 令和6年度山口市農業集落排水事業会計予算
- 令和6年度山口市漁業集落排水事業会計予算
- 令和5年度山口市一般会計補正予算（第11号）
- 令和5年度山口市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和5年度山口市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 令和5年度山口市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 令和5年度山口市鑄銭司第二団地整備事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和5年度山口市国民宿舍特別会計補正予算（第2号）
- 令和5年度山口市公共下水道事業会計補正予算（第2号）
- 令和5年度山口市一般会計補正予算（第12号）

条 例

- 指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 漁港漁場整備法及び水産業協同組合法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 山口市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
- 市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

- 山口市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市使用料、手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 山口市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 山口市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 山口市水道事業等の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市水道事業給水条例及び山口市阿東簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例
- 山口市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
- 山口市吏員恩給条例を廃止する条例
- 山口市税条例の一部を改正する条例

事 件 議 決

- 山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び山口県市町総合事務組合の共同処理する事務の変更並びに規約の変更に関する協議について
- 山口市老人憩の家寿泉荘の指定管理者の指定について
- 鑄銭司第二団地用地の売払いについて
- 移動式排水ポンプの取得について
- 令和5年度山口市一般会計補正予算（第10号）に関する専決処分について
- 教育委員会の委員の任命について（敬称略）
佐藤 真澄（再任）
- 公平委員会の委員の選任について（敬称略）
小田村 哲（新任）

諮 問

- 人権擁護委員の候補者の推薦について（敬称略）
山田 圭介（新任）

委 員 会 提 出

- 山口市議会会議規則の一部を改正する規則
- 山口市議会委員会条例の一部を改正する条例
- 地方自治法第180条第1項の規定による市長専決処分事項の一部を改正する告示

賛否が分かれた議案と審議結果（○は賛成、×は反対）

議 案		審議結果	未 来 志 行 山 口	県 都 創 生 山 口	公 民 明 党	市 民 ク ラ ブ 会	高 志 会	日 本 共 産 党	徳 孤 会	地 域 政 党 や ま ぐ ち の 風	最 燃 焼	英 知 会	継 続 力 の 会	南 部 の 風	山 口 蒼 志 会
予 算	令和6年度山口市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度山口市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	令和6年度山口市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
条 例	山口市介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

山口市議会では、「総務」教育民生「生活環境」「農林建設」「予算決算」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する部局の議案や業務等の審査・チェックをしています。

各委員会の所属議員、所管する部局、日程など、詳しくは市議会ウェブサイトに掲載しています。



男性職員の育児休業 取得率100%を目指す

男性の育児参加率の向上に向けた仕組みづくりとして、まずは、本市の男性職員の育児休業取得率100%を目指して取り組む。

また、職員体制、業務執行体制を整え、育児休業を取りやすい環境の整備に取り組んでいく。(担当部局：総務部)



委員の意見

・部局間で連携を図り、体制を整えた上で、取組を推進していただきたい。

総務
委員会



週休2日工事の導入

建設現場における休日の確保による建設産業従事者の就労環境の改善のため、本市が発注する工事において、令和6年4月から週休2日工事を導入する。建設産業における週休2日の実現に向けて、制度運用を行う中で必要な見直しを行うなど、建設産業を将来にわたり持続可能なものとするための環境整備を図っていく。

(担当部局：総務部)



総務
委員会



歩行者等の安全確保対策

路面を滑らかに盛り上げるような構造物や道路幅を狭めるポールなどを設置することにより、通過する車両の速度や流入の抑制を促し、生活道路における歩行者等の安全を確保する対策の一つである「ゾーン30プラス」が、県内で初めて大内小学校周辺の市道に導入される。

今後、関係警察署と連携し、生活道路の安全対策の取組を進め、交通事故の抑制につなげていく。(担当部局：地域生活部)



委員の意見

・教育委員会で作成している危険箇所対策カルテとの連携を図っていただきたい。

生活環境
委員会



インバウンドの増加を見据えた 観光誘客対応

ニューヨーク・タイムズ紙の報道を契機とした対応として、外国人観光客の増加を見据え、案内表示等の多言語対応や観光案内所での多言語対応スタッフの増員など、受入環境の整備を行う。そのほか、大内文化に代表される歴史的・文化的価値を有するスポーツやイベントについて、本市ならではの体験コンテンツとしての高付加価値商品の造成と旅行エージェントを通じた商品販売、さらには海外現地でのプロモーションの実施など、観光誘客につながる取組を展開していく。

(担当部局：交流創造部)



生活環境
委員会



民間事業者への助成を通じた 放課後児童クラブの開設

放課後児童クラブの待機児童の解消に向けて、令和6年度は、定員を240人拡大する。定員を拡大する小学校区の内訳は、小郡小学校区が60人、大内小・大内南小学校区が120人、平川小学校区が60人で、それぞれ新たな学級を開設する。小郡小学校区は4月から、大内小・大内南小学校区と平川小学校区は夏頃の開設を予定している。

また、平川小学校区については、民間事業者の活用による放課後児童クラブの開設を目指している。現在、助成制度の最終調整を行っており、補助金交付要綱の制定後、広く事業者を募集する予定としている。

なお、学級の利用に係る保育料は、市が設置している放課後児童クラブと同額とする。



教育民生
委員会



子育てと介護分野のDX 推進の状況は

子育て関連事業のDXの取組として、令和3年7月から提供を開始した子育て支援アプリ「やまここby 母子モ」の機能の充実等により、アプリから妊娠届出やオンライン相談ができるようになるなど利便性の向上及びシステム入力業務の簡素化を図っている。

介護分野では、令和6年度から新たに介護認定手続に必要な調査票の作成支援システムを導入し、事務の効率化に取り組みとともに、介護認定審査会のデジタル化に実証的に取り組み、資料のペーパーレス化や会議の効率化を図っていく。

(担当部局：健康福祉部)



教育民生
委員会



河川治水課新設！ 今後の取組は

河川に関する事務、浸水対策に関する事務を一元化して司る部署として、河川治水課を新設し、市域全体の災害治水対策の総合的なマネジメントの強化や、緊急かつ集中的な河川の浚渫を推進する。また、上下水道局とともに、気候変動の影響を踏まえた下水道による浸水対策を実施すべき区域や対策目標等を定める雨水管理総合計画の策定を行っていく。

(担当部局：都市整備部)



委員の意見

・予算面が充実しており、今後の防災・減災対策に期待したい。

農林建設
委員会



水道料金等の改定に向けた検討へ

水道事業及び公共下水道事業において、老朽化した施設の更新や物価高騰の影響を受け、令和6年度当初予算では、2年連続の純損失を見込んだ赤字予算となっている。



(担当部局：上下水道局)

委員の意見

・経営が厳しい状況にあることを市民に理解してもらい、公平性の観点も踏まえて検討いただきたい。

農林建設
委員会

交流 婚姻対策としてマッチングアプリの活用を!

企業との連携については、取組の効果や有効性、課題について引き続き研究していく。



問 2023年の生涯未婚率は男性約28%、女性約18%であり、2000年の男性約13%、女性約6%から激増している。少子化対策の一番の処方箋は婚姻対策と考える。そこで、今の20代、30代の出会いの主流となっているマッチングアプリ企業と連携した出会いの創出が必要だと思いが、市の見解を伺う。

答 令和5年度から婚活イベントの開催支援を開始したところ、1件の申請があり58名が参加、9組のカップルが成立した。また、農山村エリアでの交流・婚活イベントの開催支援も開始し、3件の申請があった。今後も引き続き支援を行いたい。あわせて、マッチングアプリの活用や



市民クラブ
部谷 翔大
へや しょうた


定住 農山村エリア居住促進計画について

山口市総合計画後期基本計画の計画期間と合わせ、令和9年度までと考えている。



問 令和6年度中に、農山村エリア居住促進計画をどのようなスケジュールで策定されるのか伺う。

答 令和6年3月に決定する山口市農山村エリア居住促進基本方針を踏まえ、計画における居住促進に向けた取組について、農山村エリア9地域の皆様から御意見を伺いながら、令和6年度末に計画を策定していく。同時に、農山村エリアにおける人口減少への対応を早急に進めていくため、令和6年度においては、計画策定と同時並行で居住促進に向けた具体的な取組を検討しつつ、一部の取組については、計画策定に先行した形で着手していきたい。また、本計画の計画期間は、第二次山口市総合計画後期基本計画の計画期間と合わせ、令和9年度までと考えている。



高志会
伊藤 斉
いとう ひとし


定住 農山村の居住促進方針は集約ではなく開発規制を

●その他の質問
○公立幼稚園・公立保育園

答 住宅開発以外の農地転用は想定していない。こうした考えの下、関連計画の策定や見直しを行っていく。

問 山口市農山村エリア居住促進基本方針(案)は、地域交流センターを中心とする半径500mの範囲の農地転用を緩和し、集落の住まいを集約しようとする考えではないか。それについて見直しを求めたい。

答 本方針の居住促進の取組は集落の集約化を図るものではなく、農用地区域の除外を具体的な住宅開発計画に限定し、確実な住宅開発と定住人口の増加に結び付けたい。

問 農地転用による太陽光発電のため事業者の無秩序な開発を規制すべきではないか。環境保全のため問題がある。

答 住宅開発以外の農地転用は想定していない。こうした考えの下、関連計画の策定や見直しを行っていく。




日本共産党
大田 たける
おおた たける


産業 防災産業を企業誘致の対象に!

国の経済政策や県の動向等を踏まえて研究していきたい。



問 市は、先端事業を展開する企業誘致を推進している。日本では、いづどこで災害が起こるか分からないので、防災産業が重要になってくる。考えるが、市の今後の企業誘致への考え方を伺う。

答 本市では、地域経済の活性化や雇用の創出を目的として、今後成長が見込まれる分野のうち、次世代自動車、次世代住宅、健康食品、医療品・医療機器の4つの分野の集積を図り、地域経済活性化への寄与及び市内事業者の技術又は地域資源の活用が期待できる重点立地促進分野と位置づけ、優遇制度を充実することで誘致活動を推進してきたい。防災分野については、今後、重点立地促進分野の見直しの際に、国の経済政策や県の動向等を踏まえて研究していきたい。



高志会
伊藤 青波
いとう しょうは


環境 地域脱炭素への積極的な取組を!

い。につなげていききたる地域社会の形成



問 脱炭素先行地域の推進について、令和5年度の取組状況と令和6年度の取組内容、地域脱炭素に向けた市全体の今後の展望について伺う。

答 令和5年度は、EVの公用車を活用したカーシェアリングサービスを開始し、中心市街地では省CO2設備導入補助制度を創設した。また、地域新電力会社設立に向けた具体的な協議を進めてきた。令和6年度は、新本庁舎への高効率な省エネルギー設備システムの導入等を図るとともに、令和7年1月からの地域新電力会社による電気供給事業の開始に向けた諸準備を進めていく。今後も、市全体の発展につながる地域脱炭素の取組を部局横断的に進めることで、便利で安全安心な



未来志行山口
米本 太郎

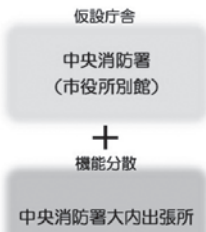
よねもと たろう



消防 新たな機能が充実した中央消防署整備で体制強化

〈施設連携イメージ〉

整備期間中の業務継続の方法



※中央消防署機能の一部を大内出張所に分散配置

問 山口市中央消防署整備基
本計画に関し、現在の庁舎にない新たな機能と工事期間中の体制確保について伺う。

答 新たな機能として、職員
の感染防止やプライバシーを考慮した個室型の仮眠室、執務室や仮眠室から車庫へ直接出場できる専用階段、防災服等を着用しながら災害情報等を共有できる出場準備室、訓練施設としても使える見学スペースや体験施設を整備する。また、工事期間中は、教育委員会の新本庁舎への移転後の市役所別館を仮設庁舎として活用するとともに、特別救助隊の一部機能を大内出張所に分散配置し、出場体制と訓練環境の確保に努める。



地域政党 やまぐちの風
竹中 一郎

たけなか いちろう



観光 観光客増加に対応する安全対策と宿泊環境整備

問 お祭りの安全管理等を含めた受入体制の整備と宿泊環境整備の強化について、どのように進めるのか伺う。

答 山口祇園祭や山口七夕
ちようちんまつりは、多くの来場が予想されるので、関係団体等と連携し、人員配置や安全管理など受入体制の環境整備を検討する。また、本市の宿泊拠点である湯田温泉街の維持・存続に向けた支援の拡充により、宿泊機能の維持・強化を図る。

スポーツ
地域活性化のためレノファ山口FCの最大活用を

問 スポーツを通じた地域活性化に向けたレノファ山口FCとの連携について伺う。

答 レノファ山口FCが地域に根つき好循環を生み出すことで、スポーツを通じた地域活性化に発展していくと考え、さらなる連携強化を図り、交流の機会を増やしていく。




未来志行山口
鳥義 祐矢

とりかい ゆうや



福祉 温かな子どもの発達支援を目指して!

問 中山間地域において、子どもや保護者が住み慣れた地域で希望する支援が受けられるよう、インクルージョン(包括)の推進を検討してはかがか。

答 中山間地域における課題を組み合わせたり放課後等デイサービスの送迎範囲の拡大、放課後児童クラブの支援員確保、高齢者施設等での預かりなど地域内の社会資源の柔軟な活用について知恵を出し合い、地域の力も借りながら協議、検討する場を持ちたい。また、障がい児支援と子育て支援が双方向から緊密に連携し、障がいの有無にかかわらず、地域で共に成長できるようインクルージョンの推進を図っていく。

●その他の質問
○インバウンド受入れ




未来志行山口
大來 尚順

おおぎ なおひろ



観光 生雲溪の安全性と魅力の向上を図る



長門峡遊歩道の案内看板

問 長門峡県立自然公園内にある生雲溪の遊歩道の復旧と警告看板の外国語併記について、市の考えを聞かす。

答 遊歩道は、県立自然公園内にあり、県が主体的に整備を行うことになるが、現在のところ全線復旧は困難とのことである。市としては、簡易な遊歩道の修繕、堆積した落ち葉などの除去、転落防止のためのロープの修復等について、今後も県、地域と協議したいと考えている。また、立入禁止看板の外国語表記については、今後のインバウンド需要も予想されることから、県と連携を図りながら対応すること、長門峡遊歩道全体の安全性と魅力向上に努めたい。



市民クラブ
山見 敏雄

やまみ としお



医療 带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成スタート!

希望者全員が制度を活用できるよう、所要の予算措置を講じたい。



問 令和6年度から、国の定期接種化に先行して50歳以上の方への接種費用の半額助成がスタートするが、接種想定者数など、事業概要についてお尋ねする。

答 带状疱疹の発症予防には健康管理とワクチン接種が有効とされ、希望者の自己負担による任意予防接種が実施されている。接種費用の助成制度は、助成額を接種費用の半額程度とし、生ワクチンは4千円を1回、不活化ワクチンは1万円2回を上限に、いずれかのワクチン接種を助成するため、事業費872万円を予算計上している。想定接種者数は、生ワクチン240人としているが、希望者が想定を上回る場合には、希望者全員が制度を活用できるように、所要の予算措置を講じたい。



公明党
山本 敏昭

やまもと としあき



安全 無電柱化推進対策の新たな目標対策について!

- その他の質問
- 子育て支援対策
- 教育行政

問 中国地区電線類地中化協議会山口地域部会で強く訴えるために市独自の計画が必要と考えるが、所見を伺う。

答 現在本市が進めている無電柱化事業は、令和7年度を目途に完成することから、その他の路線における無電柱化の優先順位を整理し、山口県無電柱化推進計画に位置づける必要がある。第二次山口市総合計画はもとより、防災・安全・円滑な交通確保、景観形成・観光振興の観点に関連する部門計画との整合を図り、速やかに無電柱化路線の選定や優先順位づけを行う。議員提案の市の推進計画は、現在策定を進めている山口市道路整備計画の中で位置づけ、早期事業化につなげるよう取り組んでいく。




公明党
栗林 正

くりばやし ただし



文化 文化財 史跡周防鑄銭司跡の活用



史跡 周防鑄銭司跡

問 令和7年度には、周防鑄銭司設置後1200年を、また、令和6年度には、生誕200年となる大村益次郎の資料も展示する鑄銭司郷土館が開館40周年を迎える。多くの節目が重なる時期における文化財の活用に係る考えを聞かす。

答 周防鑄銭司設置1200年記念事業、鑄銭司郷土館開館40周年及び大村益次郎生誕200年に関連して、令和6年度、令和7年度に様々な記念事業を実施する。これらの事業は、地域の歴史文化資源を市内外の多くの方に知っていただく絶好の機会と捉えている。今後も文化財行政の推進を図り、魅力的なまちづくりにつなげていきたい。



県都創生山口
野村 幹男

のむら みきお



行政 行財政改革の取組について

問 歳出削減のための民間活用について伺う。

答 限られた財源で公共サービスを持続するには、サウンディング型市場調査や民設民営など民間事業者との連携が重要と考えており、事業効果が高いものは民間活用に向けた検討を進めていく。

問 令和6年度予算は過去最大規模である。歳入の増に資する取組について伺う。

答 公有財産のうち従来の用途・目的を終えたものは普通財産として売却や貸付けを行い、令和4年度は約1億2千万円の収入を得た。ほかにも、公有財産の空きスペースの貸付けやネーミングライツ、ふるさと納税、企業版ふるさと納税などに取り組んでいる。今後、財政運営計画に沿った健全な財政運営を行っていく。

企業版ふるさと納税
企業が地方公共団体の地方創生の取組に対して寄附を行った場合に法人関係税を最大9割控除する制度。



未来志行山口
馬越 帝介

まこし たいすけ



交通 国道9号の早急な防災対策を

○過疎地域の集落対策
●その他の質問

問 近年の気候変動により、大規模災害がいつどこで発生してもおかしくない状況にある。国道9号の木戸山トンネルから仁保入口交差点までの区間については早急な防災対策が必要である。期成同盟会設立後の事業化に向けた取組について伺う。

答 国道9号の当該区間の防災対策調査のため、交通量調査やヒアリング調査を実施した。その結果、道路整備により期待される効果として、防災・減災の推進、産業・経済の発展、地域間交流・連携の促進、救急医療の速達性の確保、安全安心な暮らしの確保の5つを整理した。今後、関係市町と連携し、早期事業化を目指して引き続き要望活動を強化していく。



渋滞が発生している国道9号



未来志行山口
原 真也

はら しんや



都市 「元気な県都づくり!」へ、どのように寄与?

○人口減少に歯止めをかける施策について
●その他の質問

問 山口県農業試験場跡地利用基本計画の策定に向け、諸課題がある中でどのように進めるのか伺う。

答 令和6年度に、渋滞対策や雨水排水対策など諸課題の対応に係る調査に取り組み。また、山口県農業試験場跡地が位置する大内地域は、山口都市核の居住誘導区域として重要なエリアであり、若者の定住人口増加、若者が住みたいと思うまちづくりにつなげていくことが重要と考える。若者・子育て世代を引きつけ、豊かなコミュニティが幅広い世代で広がるような、山口の未来を牽引する機能や施設の充実を図り、若い世代の意見等も踏まえながら跡地利用に係る取組を進めたい。



継続力の会
植野 伸一

うえの しんいち



協働 「協働のまちづくり」の理念に回帰する

○産業団地の整備について
●その他の質問



嘉川地域の子どもみこし

問 元気な地域づくり推進事業の取組について伺う。

答 地域資源の活用や磨き上げなどを通じた地域コミュニティの元気創出や地域に対する愛着、誇りの醸成を図る地域発のプロジェクトの具現化に向けた支援を行う。市や県の補助金だけでなく、クラウドファンディングなど様々な制度活用も視野に入れた総合的な財政支援の仕組みを検討し、プロジェクトにおける構想、計画、実行といったそれぞれの段階において、必要に応じ、関係部局による相談対応や専門家の派遣など、伴走支援を行うこととしている。



高志会
有田 敦

ありた あつし



就労 資産形成と福利厚生で市内で働く人の支援を!



問 企業型確定拠出年金の導入は、市内企業の経営者労働者に対して効率的な資産形成と福利厚生を実現できる。また、働く方に対し、金融リテラシーを高める機会も提供できる。しかし、本制度の認知度が低いため、中小企業での導入率は1%以下と非常に低い。人材採用、人材定着等市内企業の人材確保につながる本制度の導入を支援をしてはかがが。

答 企業型確定拠出年金は、制度自体の浸透が十分に図られていない状況だと考える。事業者に要望を伺いながら、人材確保、人材定着につながるセミナーの開催など、年金制度の周知に向けて関係機関と連携し必要に応じて実施することを検討していきたい。

●その他の質問
○資金運用について



スポーツ スポーツを通じた交流促進のために!!



問 スポーツコミッションとは、大規模スポーツ大会や合宿の誘致、スポーツを通じた交流促進を担う組織で、行政ではできない又は不得意な分野における成果を期待して設立するものである。宇部市などで既に取組まれているスポーツコミッションを、本市でも積極的に取組んでほしい。

答 スポーツコミッションは本市のスポーツ施設、宿泊施設の立地条件等の強みを生かせる意義のあるものであり、現在、山口観光コンベンション協会と連携し、スポーツツーリズムの推進につながるよう取組んでいる。こうした外部団体等を交えて、他市の取組等を参考にしながら検討していく。

●その他の質問
○市政への市民参画
○スマートシティの推進
○文化振興策



観光 瑠璃光寺五重塔周辺施設の整備について



問 本年1月、ニューヨーク・タイムズ紙が山口市を取り上げたことで、瑠璃光寺五重塔は世界的に注目されている。しかし、露山堂などの周辺施設では、設備の故障や木々の立ち枯れが見られ、整備が十分とは言えない。瑠璃光寺五重塔周辺施設の整備を積極的に進める必要があると感じるが、市の所見を伺う。

答 瑠璃光寺五重塔をはじめとする香山公園においては、歴史、文化、自然を感じられる美しい観光空間の維持管理に努めているところである。整備不良箇所については、現況を調査し、関連部署と連携し、必要に応じて改修作業を進めていきたい。

●その他の質問
○救急出場件数の増加対策



春の瑠璃光寺五重塔

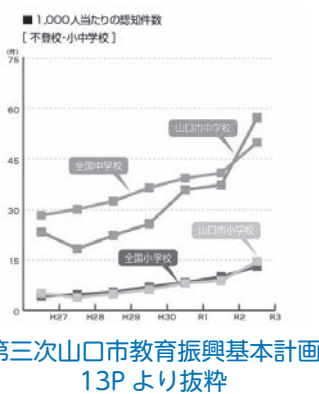
教育 多様な学びの保障に踏み込んだ不登校対策を!



問 不登校児童生徒が増加傾向にある中、一人一人の学びの機会の確保に向けた、誰一人取り残さない学び、一人一人に寄り添った個別最適な学びの実現のため、多様な不登校対策の推進が必要と考えるが、市の御所見を伺う。

答 学校に通うことができない子どもも学ぶことのできる環境の確保が大変重要と認識している。自分の夢に自信を持って一歩踏み出せる心の居場所づくりや、全ての子ども達が学びたい、楽しいと思える魅力ある学校づくりを進め、笑顔が広がる「教育のまち山口」を目指していく。

●その他の質問
○救急出場件数の増加対策



どうなる中山間の物流、2024年問題にせまる



阿東地域で行われた
将来のドローンによる配送を
想定した実証実験

問 既に物流の2024年問題の影響を受けている阿東地域で昨年11月にドローン配送の実証実験が行われたが、地域内の配送を検討するに当たり、住民の声をどのように吸い上げ、今後どのように取り組むのか伺う。

答 配送効率の悪い中山間地域では物流の2024年問題の影響が懸念されることから、配送サービス等に対する意向を聞き取り、整理した上で今後の取組につなげることにしている。また、実証事業を実施する中で、地域の声や課題等を抽出しながら他の選択肢も検討し、配送事業者とも連携し、持続可能な仕組みの構築につなげていきたい。



最燃焼
安河内 淳朗
やすこうち あつろう



小郡都市核の戦略的な環境整備の在り方

●その他の質問
○障がい者の差別解消



新山口駅上空から見た
小郡都市核

問 小郡都市核における飲食店や小売サービス業等の出店支援、駐車場整備などの戦略的な環境整備の在り方について、山口商工会議所の要望項目を踏まえつつ、今後の見通しについての見解を伺う。

答 令和6年度に新山口駅周辺の現況調査を実施する中で関係者の意見も伺いながら整理し、令和7年度の予算編成を視野に入れ出店支援制度の設計に取り組み。駐車場整備等は、民間事業者へのヒアリングや都市計画手続を経た後、第三次山口市総合計画を見据えた取組を想定しているが、極力前倒しで進めたい。



山口蒼志会
中野 光昭
なかの てるあき



会計年度任用職員の通勤手当返還請求は撤回せよ

問 雇用契約を一日付けにやり直すことで返還請求の根拠がなくなり、双方に不利益がない解決方法であると提案するが、見解を伺う。

答 契約そのものは有効と考えており、遡って雇用開始時期を修正することは考えていない。



問 会計年度任用職員制度は雇用の不当な空白期間を作らない継続雇用が可能というメリットがあるが、学期雇用により不当な空白期間を作った。制度を熟知していない職員の怠慢であり、非はなしい会計年度任用職員に負担がかからないよう対応すべきでは。

答 御迷惑をおかけし深くお詫びする。返還方法の相談に応じるなど負担軽減に努めたい。また、学期間雇用を通常雇用とするとともに再発防止の取組を確実に実行する。



日本共産党
尾上 頼子
おのうえ よりこ



(仮称)山口市武道館建設について!

が武道振興の拠点にふさわしい施設になるとともに、武道競技人口の底上げや競技力の向上に資するものとなるよう、武道関係団体等からの御意見や御提案を賜りながら武道館整備基本計画の策定を進めていく。



問 (仮称)山口市武道館の候補地として、やまぐちリフレッシュパーク及び周辺の活用が考えられる。老朽化した施設の改修ではなくスクラップ・アンド・ビルドの考え方を取り入れ検討されてはいかがか。

答 やまぐちリフレッシュパークへの武道館整備は、既存施設との併設も併せて検討することが望しいとする市武道館建設検討委員会の留意事項を踏まえると、候補地の選定を進める中で可能性を大いに含んでいることから、施設配置についても検討を行っている。(仮称)山口市武道館が武道振興の拠点にふさわしい施設になるとともに、武道競技人口の底上げや競技力の向上に資するものとなるよう、武道関係団体等からの御意見や御提案を賜りながら武道館整備基本計画の策定を進めていく。



県都創生山口
瀧川 勉
たきがわ つとむ



JR宇部線の現状と課題・宇部市との連携



阿知須駅に進入するJR宇部線の電車

問 JR宇部線は南部の活性化に重要であるが、大型イベント開催時には混雑する。来訪者や住民の利便性の確保に係るJRへの働きかけや、宇部市との連携について市の取組状況を伺う。

答 国内外からの来訪者の増加が予想される中、山口宇部空港等からの多様な移動手段としてJR宇部線は重要と考えており、交通系ICカード改札機の導入や混雑時の増便、増結などの対応をJRに働きかけていく。また、宇部市とは異なる都市特性を補完しながら都市連携の取組を進めており、今後も連携を深めつつ広域県央中核都市づくりを進め、県央部や県全体の発展につなげていく。



徳孤会
山本 浩二

やまもと こうじ



大内文化特定地域のまちづくり

8年度から令和6年度までの事業を着手を目指す。



山口市都市核づくりビジョンに描かれた“堅小路筋”イメージ

問 令和4年9月議会で大内文化特定地域の背骨ともいえる国道9号から南側の県道山口旭線、いわゆる堅小路筋について、県から移管を受けて市で整備するよう求めたが、その後の進捗状況とスケジュールを伺う。

答 県道山口旭線は、大内文化特定地域の中心軸であり、中心商店街や亀山周辺との回遊性の向上を図る上で重要な路線であることから、当該地域の顔となる道路景観を形成するため、道路の美装化等の修景整備を行いたいと考えており、道路管理者である県と協議を進めている。道路の維持管理に必要な修繕等を県で実施後、令和6年度末を目途に移管を受け、令和7年度から調査や計画策定、関係機関との調整を進め、令和8年度から事業を着手を目指す。



県都創生山口
倉増 賢治

くらまし けんじ



議会からのお知らせ

先進地に学ぶ視察報告

詳しくは、二次元コードからご覧ください。



1/25

教育民生委員会



ステップアップルームについて

●山口市立大内中学校

本市では、在籍する学級での学習や生活が困難となった生徒に個別の支援を実施するステップアップルームを市内3つの中学校に設置しており、そのうちのひとつである大内中学校の取組を視察しました。

事業概要をはじめ取組の成果や大内中学校ならではの取組を確認すると

もに、実際に利用している生徒の皆さんともお話しをすることができ、現場の様子がよくわかりました。



民間が実施する放課後児童クラブについて

●株式会社佐藤商会（山口市中河原）

放課後児童クラブは、さらなる受け皿の確保が必要な状況にあります。その手段の一つとなり得る民間事業者の活用について見識を深めるために、民

間学童保育クラブ Little Seekers を運営されている株式会社佐藤商会の視察を行いました。

放課後等デイサービスにおける肢体不自由児の療育について

●デイサービス ラ・ベルヴィ（山口市木町）

障がい支援体制の充実や理解促進が求められている中、実際にサービスを提供されている現場の声に触れることが重要であると考え、デイサービスラ・ベルヴィを訪問し、施設を見学するとともに、お話しを伺いました。

泉裕樹議員の御逝去を悼みます



泉裕樹議員が去る二月一日に御逝去されました。

氏は、平成二十二年に市議会議員に初当選以来、四期十三年九カ月にわたり山口市の発展のため大いに御尽力されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、御生前の御功労と御人徳をしのび、心から御冥福をお祈り申し上げます。

山口市議会

（略歴）

・教育民生委員会副委員長

平成二十四年五月十八日

日から平成二十八年五月十八日

・教育民生委員会委員長

平成二十八年五月十九日

日から令和二年五月十七日

・総務委員会委員長

令和二年五月十八日から令和四年四月三十日

・生活環境委員会委員長

令和四年五月十七日から令和六年二月一日

・生活環境委員会委員長

令和四年五月十七日から令和六年二月一日

議会の主な動き



12月

- 27日 市議会だより等編集委員会(以下、「編集委員会」)

1月



令和6年山口市消防出初式
(1月7日)



令和6年山口市二十歳のつどい
(1月7日)

- 9日 会派代表者会議
- 12日 編集委員会
- 25日 教育民生委員会行政視察
- 29日 山口市議会議員研修会
- 31日 全国市議会議長会基地協議会第108回理事会
全国市議会議長会基地協議会第87回総会

2月

- 9日 会派代表者会議、議会運営委員会、執行部説明会
- 16日 第1回定例会初日(～3月14日最終日)
- 19日 議会運営委員会
- 26日 編集委員会
- 29日 議会運営委員会

3月

- 11日 議会運営委員会
- 14日 議会運営委員会

おいでませ山口へ(行政視察の受け入れ)

全国各地から行政視察にお越しいただきました。

◇受け入れ団体(1月～3月)7団体

- 1月11日 愛知県春日井市議会
- 1月15日 東京都足立区議会
- 1月23日 大分県大分市議会
- 1月25日 大分県中津市議会
- 1月26日 佐賀県唐津市議会
- 1月30日 佐賀県佐賀市議会
- 1月31日 北海道議会

行政視察を通じ、本市の取組や魅力をPRしていきます。

編集後記

みなさんからのご意見に紙面でお応えするべく、議会の様子をわかりやすくお伝えできるよう、委員と力を合わせこの2年間編集委員長として務めてきました。ありがとうございました。「見やすくなった」の喜びです。今後ともご意見をよろしく願います。(大田)
山口市の公式LINEでも市議会だよりが見られるようになりました。ぜひ皆さん、ご覧になってください。(野村)

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

陳情の受付…5月29日(水)まで 請願の受付…6月5日(水)まで

日	月	火	水	木	金	土
6/9	10	11	12	13	14	15
	本会議 (初日) 10:00～					
16	17	18	19	20	21	22
	本会議 10:00～ (一般質問・質疑)	10:00～17:00 ケーブルで生中継		本会議終了後 予算決算 委員会		
23	24	25	26	27	28	29
	教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	総務 委員会 農林建設 委員会 10:00～		予算決算 委員会 10:00～		
30	7/1	2	3	4	5	6
	本会議 (最終日) 10:00～					

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

- 山口市議会ホームページ
<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/site/gikai/>



- インターネット録画中継
<https://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ホームページ等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住所：〒753-8650 山口市亀山町2番1号
電話：083-934-2854 / FAX：083-934-2658
メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp
あて先：山口市議会事務局「議会の感想」宛て

【表紙写真】

レノファ山口FCのホーム戦で盛り上がるスタジアムの様子です。レノファ山口FC2024シーズンスローガンは「総力」。3月定例会では全議員が登壇するなど、山口市議会も「総力」で取り組んでいきます。

市議会だより等編集委員会

委員長 大田たける 副委員長 野村雄太郎
委員 大來尚順・鳥養祐矢・米本太郎・倉増賢治
野島義正・栗林 正・有田 敦・山本浩二
安河内淳朗・植野伸一

次号は8月発行です